

2026年3月度 炭焼き部会レポート

< 3 月の活動概要 >

■ 炭焼き活動

先月に続き、今月はたたら製鉄の燃料用として2回目の木炭焼きを行いました。

宮谷戸のドラム缶窯(MK-2)は、昨年前半、炭焼後の整備(清掃)不良が原因で自発炭化温度があまり上がらず、収量・質ともに悪い状況が続いていましたが、煙突内部のタール等を徹底して除去したことで、昨年秋頃から非常に安定した性能を維持できています。今月もブルーフレームが長時間観察されました。

たたら燃料用としての木炭焼きはあと1回の予定。



煙突内のタール



ブルーフレーム

< 3月の活動概要 続き >

■ 新規ボランティア会員の獲得に向けて(継続)

【今月の体験応募者】

2家族3名(1家族はジュニア倶楽部会員の親子)

【体験内容】

- ① 通常の炭焼き(窯詰め、火入れ、窯出し)
- ② 炭材作り(竹材の採寸、竹割り、束ね)、薪割りなど
- ③ 竹細工(カエルのカスタネット組立て)

※炭材作りではレシプロソー(電動鋸)を使っの採寸を体験



3 月度 活動レポート 第 1 週

－ 3 月 4 日（水）9：00～12：00

- ・ 竹細工素材作り
- ・ 竹酢液の蒸留（1 回目）

－ 3 月 6 日（金）9：00～12：00

- ・ 清水谷戸の竹林整備
 - － 枯れ竹のチップー処理
 - － 立ち木間伐・玉切り・搬出

－ 3 月 7 日（土）9：00～12：00

- ・ 窯詰め（MK-1使用、木炭）
- ・ 薪割り
- ・ 枯れ竹の採寸（68 cm）
（無煙炭化器での炭焼き用）
- ・ ばじょうじ窯解体廃棄物の処理
 - － コンクリート破片と耐火煉瓦の仕分け



竹細工の素材



チップー処理

3 月度 活動レポート 第 2 週

- － 3 月11日（水） 9：00～12：00
 - ・ 竹細工用の素材作り(1年分)
 - ・ 竹酢液蒸留(2回目)
 - － 出来高:12 L

- － 3 月13日（金） 9：00～12：00
 - ・ 煙突設置
 - － 一部新品と交換
 - ・ 火入れ日の昼食準備

- － 3 月14日（土） 9：00～19：00
 - ・ 火入れ(MK-1)
 - ・ 軟炭焼き(無煙炭化器使用)
 - ・ 薪割り／出来高:18束、計85.06 kg
 - ・ 炭材作り(採寸カット、竹割り、束ね、計量)
 - ・ 部会ミーティング

(都筑里山倶楽部2026年度年間事業計画の配布・説明)



新品煙突と交換

3 月度 活動レポート 第 3 週

- 3 月18日（水）9：00～12：00
 - 竹細工（カエル）の素材作り
 - ロッカー（衣装ケース）の買換えと整理

- 3 月20日（金）9：00～12：00
 - 煙突の撤去・清掃
 - 伐採木（薪の材料）と薪束の運搬
 - 竹細工製品の素材作り
 - プラスチックロッカーの解体・廃棄

- 3 月21日（土）9：00～12：00
 - 窯出し（MK-1）木炭
 - 軟炭焼き（無煙炭化器、竹炭）の回収
 - カエルのカスタネット組立て（50匹）
 - 竹酢液のボトル詰め／出来高 20本（500 mL）
 - 次月（4 月）の活動予定表配布・説明

< ドラム缶窯 MK-1による炭焼き >

- 炭材：公園内の間伐けやき材（横浜市公園事務所より提供）
- 乾燥日数&乾燥減量：不明
- 入木材量： 73.15 kg
- 出炭量： 17.11 kg (23.4%)
- 採取木酢液： 6.0 L



窯詰め



窯開け（出炭前）

（比較／対前月2月度の木炭焼き）

炭材： こなら木片 色々 入木材量： 75.10 Kg

出炭量： 15.94 Kg (21.2 %) 採取木酢液： 12.0 L

※ 使用炭材（けやき）は2月度のものと同じものだったが、乾燥が進んだせいか、木酢液などの抽出液量は前回より減少した。しかし、タールのほうは大量に煙突内に残留していた。タールの生成は木材の方が竹よりも多い？



木酢液



残タール

今月

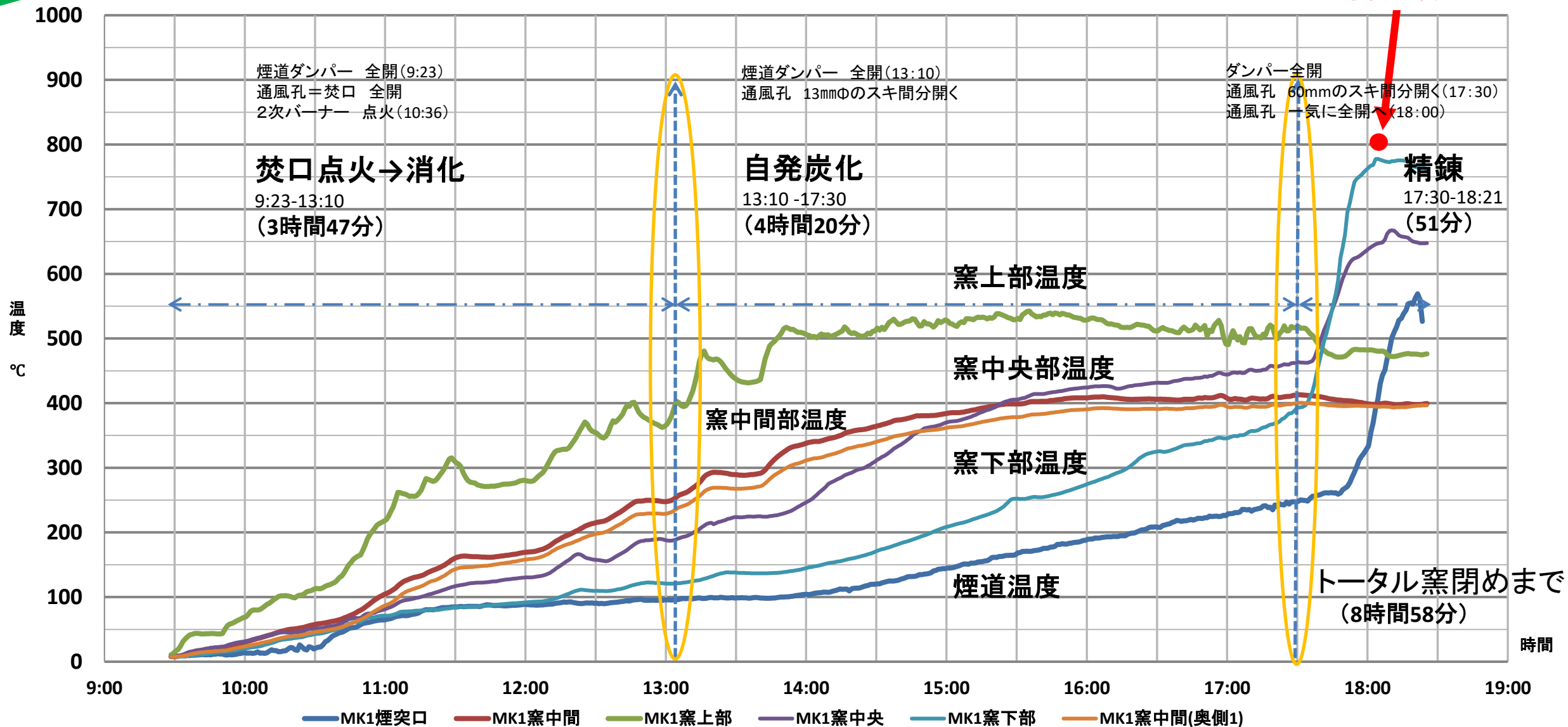
2026年3月14日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 木炭焼き結果

第264回(窯改修後22回目) 炭焼き、気温 10.4℃、天気 晴れ

炭材:間伐ケヤキ (伐採年 2026年2月(?))、乾燥日数、乾燥重量減は不明

入木材量: 73.15 Kg 採取木酢液: 6.0 L 出炭量: 17.11 Kg (23.39%)

MK-1 窯下部
最高温度777℃



前月

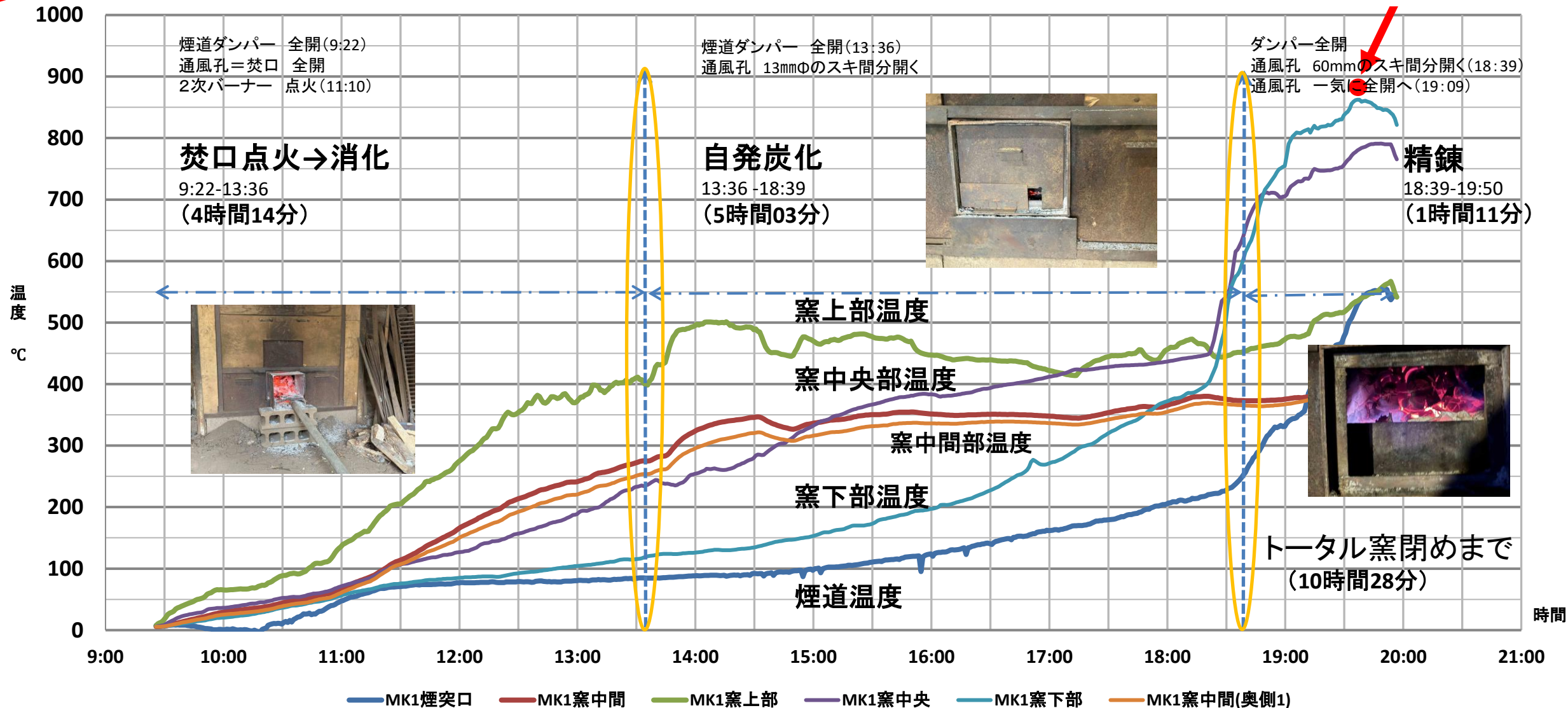
2026年2月14日(土) 宮谷戸 MK-1改修窯 木炭焼き結果

第263回(窯改修後21回目) 炭焼き、気温 6.2℃、天気 晴れ

炭材:間伐ケヤキ (伐採年 2026年月日、乾燥日数、乾燥重量減は不明)

入木材量: 75.10 Kg 採取木酢液:12.0 L 出炭量: 15.94 Kg(21.23%)

MK-1 窯下部
最高温度862℃



<炭焼きボランティア体験>

①



炭材（木）を詰める



火入れの番



窯開け



窯出しバケツリ

第1週

第2週

第3週



竹細工（蛙のカスタネット／組立て）



無煙炭化器で竹炭焼き（軟らか炭）



<炭焼きボランティア体験 続き>



竹酢液のボトル詰め・ラベル貼り



薪割りと運搬



竹の採寸カット



竹割り



道具の片づけ